



◀おかあさんは一生懸命うたいました

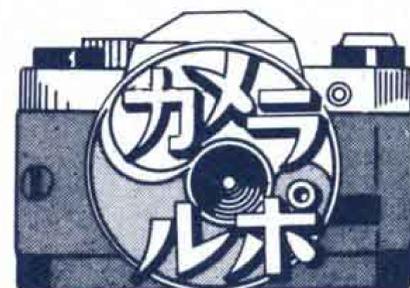
PTAのつどい

おとうさん、おかあさんも熱心に勉強

「第9回富士市PTAのつどい」が、2月9日吉原市民会館で行われました。

昨今、子供たちをめぐるいろいろな問題が取りざたされている中で、今回は「すなおな子供は明るく平和な家庭から」を標語に開かれました。

共同通信編集委員、斉藤茂男氏の「子供たちの明日のために」と題した講演やPTA実践活動の報告のあと、地道に練習を続けてきたコーラスの発表が行われました。



▲1,000人を前に熱弁の講師



◀熱心に耳をかたむける参加者

1、富士山のように 強く 正しく きまりを守り 平和で安全な社会をつくります

青年団活動の 成果を発表

青春キャッチアイ！をテーマに第19回青年祭の発表部門が、2月2日市民会館で行われました。

青年団活動を通しての意見発表。音楽、演劇などの披露を初めての試みとして。テレビ番組「うわさのスタジオ」の司会者、酒井広さんの講演もあり、参加者の熱い視線がそそがれていました。



▲若者らしくダンスの発表



▲青年の主張

福は内 鬼は外

季節のうつりかわる時、特に冬から春にか
わる立春の前日、節分ひいらぎ いわしといって冬の枝におこうちまめの
頭を刺したものを戸口に立て、鬼打豆と称し
て炒った大豆をまく習慣があります。

ここ毘沙門天でも、学校から帰ってきた子
供たちやおかあさんたちが、「福は内、鬼は外」
といってまかれた豆、みかんなどを袋いっば
いひろっていました。

四季の節分は
おかしな節分
おかしな節分



◀すわったほうがたくさん拾えるよ